



2019年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月15日

上場会社名 イマジニア株式会社
 コード番号 4644 URL <http://www.imagineer.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 澄岡 和憲

問合せ先責任者 (役職名) CFO (氏名) 中根 昌幸

TEL 03-3343-8911

定時株主総会開催予定日 2019年6月21日

配当支払開始予定日

2019年6月6日

有価証券報告書提出予定日 2019年6月24日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	5,164	13.0	706	11.3	750	12.4	503	1.4
2018年3月期	4,569	6.1	635	5.5	857	6.1	496	16.5

(注) 包括利益 2019年3月期 674百万円 (112.1%) 2018年3月期 317百万円 (46.4%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	52.47		5.3	7.2	13.7
2018年3月期	51.75		5.4	8.5	13.9

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 1百万円 2018年3月期 10百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	10,671	9,808	91.1	1,012.90
2018年3月期	10,332	9,398	90.4	972.86

(参考) 自己資本 2019年3月期 9,721百万円 2018年3月期 9,337百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	880	1,706	266	6,366
2018年3月期	1,197	2,489	164	4,049

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期		10.00		15.00	25.00	239	48.3	2.6
2019年3月期		12.50		12.50	25.00	239	47.6	2.5
2020年3月期(予想)		12.50		12.50	25.00		47.4	

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	0.7	710	0.5	755	0.5	506	0.5	52.72

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期	10,649,000 株	2018年3月期	10,649,000 株
期末自己株式数	2019年3月期	1,051,365 株	2018年3月期	1,051,365 株
期中平均株式数	2019年3月期	9,597,635 株	2018年3月期	9,597,635 株

(参考)個別業績の概要

2019年3月期の個別業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	5,164	13.1	719	0.5	762	17.8	535	1.2
2018年3月期	4,565	6.7	715	1.0	927	1.9	541	41.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	55.77	
2018年3月期	56.46	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2019年3月期	10,769		9,882		91.8		1,029.64	
2018年3月期	10,401		9,466		91.0		986.30	

(参考) 自己資本 2019年3月期 9,882百万円 2018年3月期 9,466百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数字は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は、添付書類の3ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(表示方法の変更)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、輸出や生産の一部に弱さもみられるものの、緩やかに回復しております。ただし、先行きについては、米中通商問題の動向が世界経済に与える影響等のリスクがあります。

当社グループは、創業以来の事業である「コンテンツ事業」に経営資源を集中し、更なる成長を目指しております。

当連結会計年度の業績は、売上高5,164,880千円（前年同期比13.0%増）、営業利益706,739千円（前年同期比11.3%増）、経常利益750,991千円（前年同期比12.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益503,615千円（前年同期比1.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(コンテンツ事業)

コンテンツ事業の売上高は5,162,846千円（前年同期比13.0%増）、セグメント利益は1,056,628千円（前年同期比7.7%増）となりました。

当該事業の更なる成長を目指し、ヒットコンテンツの創出のため様々なプラットフォームでの積極的な研究開発や人材採用などの事業投資に取り組んでまいりました。

主力ビジネスである「スゴ得コンテンツ」「auスマートパス」など向けにコンテンツ提供するキャリア主導サービスに加えて、スマートフォン及び「Nintendo Switch」向けのゲームコンテンツビジネスに注力しており、「Nintendo Switch」向け新作タイトルとして、2018年12月に「LITTLE FRIENDS -DOGS&CATS-」を販売。また、2018年の年末から2019年の初頭にかけて「Fit Boxing」を世界同時期に販売し、お客様より高評価をいただいております。全世界累計出荷販売本数は30万本を超えております。

(再生可能エネルギー事業)

再生可能エネルギー事業の売上高は2,033千円（前年同期比3.1%減）、セグメント損失は57,082千円（前年同期は68,020千円のセグメント損失）となりました。

中長期的な発電量の増加を目指し、水圧管路を利用した100kW以上の発電設備設置の新規立地開拓に向けた採算性調査の結果、採算の確保が難しく、採算の改善に向けた調整や交渉には、更に多くの時間とコストがかかることが想定されるため2019年2月に事業の中止を決定いたしました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産につきましては、前連結会計年度末と比較して338,287千円増加した10,671,101千円となりました。その主な要因は、現金及び預金が2,376,503千円の増加となったものの、流動資産のその他が174,851千円及び投資有価証券が1,743,200千円の減少となったことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して72,028千円減少した862,160千円となりました。その主な要因は、未払法人税等が71,664千円及び流動負債のその他が72,202千円の減少となったものの、営業未払金が70,248千円の増加となったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して410,315千円増加した9,808,940千円となりました。その主な要因は、利益剰余金が239,680千円及びその他有価証券評価差額金が144,590千円の増加となったことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」）は6,366,524千円と前連結会計年度末より2,316,587千円の増加となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況及びこれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は880,905千円（前年同期は1,197,788千円の資金増加）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益724,336千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は1,706,416千円（前年同期は2,489,460千円の資金増加）となりました。これは主に、投資有価証券の売却及び償還による収入3,146,043千円の増加要因があったものの、投資有価証券の取得による支出1,422,694千円の減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は266,646千円（前年同期は164,540千円の資金減少）となりました。これは主に、配当金の支払額261,893千円によるものであります。

（４）今後の見通し

当社は創業以来の事業であるコンテンツ事業に経営資源を集中し、当該事業の更なる成長により企業価値の向上を目指してまいります。

次期のセグメントの取り組みは、次のとおりであります。

コンテンツ事業では、市況の変化等により、主力である「NTTドコモスゴ得コンテンツ」「auスマートパス」など向けにコンテンツ提供するキャリア主導サービスをはじめとして、通信キャリアのプラットフォーム上のビジネスが厳しい状況の中、スマートフォン向けゲームを軸としつつパッケージソフトやリアル商品など他のコンテンツビジネスへの領域の拡大やコンテンツビジネス間のシナジーを一層、図ってまいります。

再生可能エネルギー事業では、2019年2月に決定した事業中止の方針に基づき、次期中に事業中止を終えるよう進めてまいります。

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実現性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,990,021	6,366,524
売掛金	1,050,802	1,007,846
有価証券	4,168	3,239
商品及び製品	9,475	7,769
仕掛品	6,864	3,472
原材料及び貯蔵品	19	19
その他	210,106	35,254
貸倒引当金	△954	△826
流動資産合計	5,270,503	7,423,300
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	105,257	102,942
減価償却累計額	△69,258	△72,896
建物及び構築物（純額）	35,999	30,045
機械及び装置	28,128	—
減価償却累計額	△2,753	—
機械及び装置（純額）	25,374	—
工具、器具及び備品	98,037	95,156
減価償却累計額	△87,957	△88,569
工具、器具及び備品（純額）	10,079	6,586
その他	13,335	13,335
減価償却累計額	△5,556	△10,001
その他（純額）	7,778	3,333
有形固定資産合計	79,232	39,966
無形固定資産	8,030	6,946
投資その他の資産		
投資有価証券	4,463,098	2,719,897
長期貸付金	135,000	135,000
破産更生債権等	115,164	120,313
繰延税金資産	267,901	218,613
その他	112,447	130,776
貸倒引当金	△118,564	△123,713
投資その他の資産合計	4,975,047	3,200,887
固定資産合計	5,062,310	3,247,801
資産合計	10,332,814	10,671,101

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,794	18,939
営業未払金	382,379	452,628
未払法人税等	127,921	56,257
返品調整引当金	—	1,488
その他	405,049	332,846
流動負債合計	930,145	862,160
固定負債	4,043	—
負債合計	934,189	862,160
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,669,000	2,669,000
資本剰余金	2,466,023	2,466,023
利益剰余金	5,049,048	5,288,728
自己株式	△622,364	△622,364
株主資本合計	9,561,706	9,801,387
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△224,478	△79,887
その他の包括利益累計額合計	△224,478	△79,887
非支配株主持分	61,396	87,441
純資産合計	9,398,625	9,808,940
負債純資産合計	10,332,814	10,671,101

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	4,569,571	5,164,880
売上原価	2,070,231	2,315,203
売上総利益	2,499,339	2,849,676
返品調整引当金戻入額	1,566	—
返品調整引当金繰入額	—	1,488
差引売上総利益	2,500,906	2,848,187
販売費及び一般管理費	1,865,795	2,141,448
営業利益	635,111	706,739
営業外収益		
為替差益	—	26,549
受取配当金	176,757	179,481
貸倒引当金戻入額	200	—
持分法による投資利益	10,855	1,464
その他	109,143	23,515
営業外収益合計	296,956	231,010
営業外費用		
為替差損	38,607	—
投資有価証券売却損	14,646	186,502
投資有価証券評価損	17,701	—
その他	4,086	255
営業外費用合計	75,042	186,758
経常利益	857,025	750,991
特別利益		
その他	662	—
特別利益合計	662	—
特別損失		
減損損失	—	26,655
貸倒引当金繰入額	115,164	—
特別損失合計	115,164	26,655
税金等調整前当期純利益	742,524	724,336
法人税、住民税及び事業税	304,095	209,200
法人税等調整額	△32,833	△14,524
法人税等合計	271,261	194,676
当期純利益	471,262	529,660
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△25,426	26,044
親会社株主に帰属する当期純利益	496,689	503,615

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	471,262	529,660
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△153,410	144,590
その他の包括利益合計	△153,410	144,590
包括利益	317,851	674,250
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	343,278	648,206
非支配株主に係る包括利益	△25,426	26,044

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益 累計額		新株予約権	非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	2,669,000	2,466,023	4,763,506	△622,364	9,276,165	△71,067	△71,067	662	36,823	9,242,584
当期変動額										
剰余金の配当			△211,147		△211,147					△211,147
親会社株主に帰属する 当期純利益			496,689		496,689					496,689
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						△153,410	△153,410	△662	24,573	△129,500
当期変動額合計	—	—	285,541	—	285,541	△153,410	△153,410	△662	24,573	156,040
当期末残高	2,669,000	2,466,023	5,049,048	△622,364	9,561,706	△224,478	△224,478	—	61,396	9,398,625

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益 累計額		新株予約権	非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	2,669,000	2,466,023	5,049,048	△622,364	9,561,706	△224,478	△224,478	—	61,396	9,398,625
当期変動額										
剰余金の配当			△263,934		△263,934					△263,934
親会社株主に帰属する 当期純利益			503,615		503,615					503,615
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						144,590	144,590	—	26,044	170,634
当期変動額合計	—	—	239,680	—	239,680	144,590	144,590	—	26,044	410,315
当期末残高	2,669,000	2,466,023	5,288,728	△622,364	9,801,387	△79,887	△79,887	—	87,441	9,808,940

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	742,524	724,336
減価償却費	20,805	16,172
減損損失	—	26,655
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	114,452	5,021
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△1,566	1,488
受取利息及び受取配当金	△178,961	△182,623
為替差損益 (△は益)	18,766	4,086
投資有価証券売却損益 (△は益)	△3,420	170,356
投資有価証券評価損益 (△は益)	17,701	—
投資事業組合運用損益 (△は益)	△83,093	△1,777
持分法による投資損益 (△は益)	△10,855	△1,464
売上債権の増減額 (△は増加)	322,295	42,955
経費前払金の増減額 (△は増加)	46,833	121,746
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	△115,164	△5,149
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,024	4,144
営業未払金の増減額 (△は減少)	155,865	70,248
未払金の増減額 (△は減少)	110,384	△9,080
未払消費税等の増減額 (△は減少)	36,476	△14,969
その他	8,210	7,392
小計	1,206,279	979,542
利息及び配当金の受取額	191,725	151,248
利息の支払額	△101	△59
法人税等の還付額	3,457	0
法人税等の支払額	△203,572	△249,826
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,197,788	880,905
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△5,795,559	△1,422,694
投資有価証券の売却及び償還による収入	8,171,058	3,146,043
有価証券の売却及び償還による収入	177,344	2,613
その他	△63,383	△19,547
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,489,460	1,706,416
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△209,871	△261,893
非支配株主からの払込みによる収入	50,000	—
その他	△4,668	△4,753
財務活動によるキャッシュ・フロー	△164,540	△266,646
現金及び現金同等物に係る換算差額	△18,766	△4,086
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,503,942	2,316,587
現金及び現金同等物の期首残高	545,994	4,049,937
現金及び現金同等物の期末残高	4,049,937	6,366,524

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当連結会計年度から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において「流動資産」の「繰延税金資産」45,452千円は、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」267,901千円に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業グループごとに取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業グループを基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「コンテンツ事業」、「再生可能エネルギー事業」の2つを報告セグメントとしております。

「コンテンツ事業」は、コンテンツの提供を主なサービスとしております。「再生可能エネルギー事業」は、小水力発電を中心とした再生可能エネルギー事業に取り組んでおります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表の作成方法と同一であります。

報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：千円)

	コンテンツ 事業	再生可能 エネルギー 事業	合計	調整額 (注)1	連結財務諸表計 上額(注)2
売上高					
外部顧客への売上高	4,567,474	2,097	4,569,571	—	4,569,571
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,567,474	2,097	4,569,571	—	4,569,571
セグメント利益 (又は損失)	981,029	△68,020	913,008	△277,897	635,111
セグメント資産	1,858,398	35,780	1,894,178	8,438,635	10,332,814
その他の項目					
減価償却費	11,861	3,424	15,285	5,520	20,805
持分法適用会社への 投資額	32,205	—	32,205	△3,115	29,089
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	1,573	1,628	3,202	296	3,499

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	コンテンツ 事業	再生可能 エネルギー 事業	合計	調整額 (注)1	連結財務諸表計 上額(注)2
売上高					
外部顧客への売上高	5,162,846	2,033	5,164,880	—	5,164,880
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,162,846	2,033	5,164,880	—	5,164,880
セグメント利益 (又は損失)	1,056,628	△57,082	999,546	△292,806	706,739
セグメント資産	1,564,193	7,215	1,571,408	9,099,692	10,671,101
その他の項目					
減価償却費	10,277	2,812	13,089	3,082	16,172
持分法適用会社への 投資額	32,205	—	32,205	△8,186	24,018
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	710	—	710	534	1,245

(注)1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益

(単位:千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	△873	△2,033
全社費用※	△277,024	△290,773
合計	△277,897	△292,806

※ 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等にかかる費用であります。

セグメント資産

(単位:千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間債権消去	—	—
全社資産※	8,438,635	9,099,692
合計	8,438,635	9,099,692

※ 全社資産は、主に余資運用資金(現金及び預金)であります。

減価償却費、持分法適用会社への投資額、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額に重要なものはありません。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:千円)

	コンテンツ事業	再生可能 エネルギー事業	合計
外部顧客への売上高	4,567,474	2,097	4,569,571

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	中国	その他	合計
3,264,864	832,343	472,363	4,569,571

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
㈱NTTドコモ	1,465,261	コンテンツ事業
KDDI㈱	552,345	コンテンツ事業
Hunantv.com Interactive Entertainment Media Co., Ltd.	462,828	コンテンツ事業

なお、㈱NTTドコモ、KDDI㈱に対する売上高は主に当社グループが㈱NTTドコモのiモード、spモードサービス及びNTTドコモスゴ得コンテンツ及びKDDI㈱のEZweb及びauスマートパスの有料情報サービスに対するものであり、㈱NTTドコモ及びKDDI㈱が、サービスの利用者（一般ユーザー）への課金、情報料の回収代行を行うものであります。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	コンテンツ事業	再生可能 エネルギー事業	合計
外部顧客への売上高	5,162,846	2,033	5,164,880

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	中国	その他	合計
3,265,059	864,088	1,035,732	5,164,880

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
㈱NTTドコモ	1,094,490	コンテンツ事業
㈱任天堂	704,726	コンテンツ事業

なお、(株)NTTドコモに対する売上高は主に当社グループが(株)NTTドコモのiモード、spモードサービス及びNTTドコモスゴ得コンテンツの有料情報サービスに対するものであり、(株)NTTドコモが、サービスの利用者（一般ユーザー）への課金、情報料の回収代行を行うものであります。

また、(株)任天堂に対する売上高は主にパッケージソフトウェアの販売によるものであります。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

「再生可能エネルギー事業」セグメントにおいて保有する固定資産について当該事業の中止に伴い減損損失を計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は26,655千円であります。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)		当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	
1株当たり純資産額	972円86銭	1株当たり純資産額	1,012円90銭
1株当たり当期純利益金額	51円75銭	1株当たり当期純利益金額	52円47銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	496,689	503,615
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	496,689	503,615
期中平均株式数(株)	9,597,635	9,597,635
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。